

新生紙パルプ商事株式会社 CSRレポート2014

Corporate Social Responsibility



はじめに

新生紙パルプ商事は経営方針のひとつに掲げた「環境に配慮した企業活動を通じ、豊かな社会づくりへの責任を果たし続けます。」に従い、事業を通じた環境保全活動を推進しています。当社の事業活動をはじめ企業の社会的責任への取り組みをご報告する場として、このたび『CSRレポート2014』を発行いたしました。当社の活動をありのまま、わかりやすくお読みいただけるよう努めました。今後も社内外の活動を広く発信していくとともに、内容の充実を図ってまいります。

経営理念

**「革新と挑戦」の情熱を持って
時代の変化に対応し、
社会とともに成長します。**

経営方針

1. 環境に配慮した企業活動を通じ、豊かな社会づくりへの責任を果たし続けます。
2. 「支持され」「必要とされ」「選ばれる」会社として成長し続けます。
3. 「紙」から広がる木質系天然素材の無限の可能性を追求し続けます。
4. 一人ひとりが志を高く持ち、プロ集団として力を発揮し続けます。

企業行動憲章

1. 法令遵守の徹底
当社は、法令はもとより、国内外のルールや社会規範を遵守し、社会や取引先からの信頼の確保と責任の履行を果たします。
2. 環境への配慮
当社は地球環境の保全を最重要課題の一つとして認識し、豊かな未来を次世代へ引き継いでいきます。
3. 企業情報の開示
当社は株主をはじめ、ステークホルダーに企業情報を積極的かつ公正に開示します。
4. 反社会的勢力との関係遮断
当社はいかなる反社会勢力および団体との関係を一切遮断します。
5. 安全で働きやすい職場環境の確立
当社は従業員一人ひとりの人格、個性を尊重し、安全で働きやすい職場を実現します。

目次

Top Message

P4

特集1

座談会 若手社員が考える「信頼される企業」とは

P6

特集2

環境に基づく仕入れ販売ガイドライン

P10

環境への取り組み

P12

企業マネジメント

P16

社会への取り組み・従業員への配慮

P18

地域貢献活動

P21

第三者評価

P22

会社概要

P23

編集方針

『CSRレポート』は、環境への取り組みなど当社の社会的企業活動についてご説明する年次報告書です。報告内容対象期間は2013年度（2013年4月～2014年3月）で、実績数値を中心とした記載としています。最新情報として、2014年4月以降の取り組みについても一部ご紹介しています。当社のCSR活動を分かりやすく伝えることを心掛け編集しています。

報告対象範囲：国内営業拠点における社会環境活動を主体に編集
参考にしたガイドライン：環境省「環境報告ガイドライン2012年度版」、ISO26000
発行：2014年10月

紙の持つ力を高め、広め、 社会に貢献し続けていきます

CSRの考え方はこの数年で社会に定着してきたと感じています。当社もかねてより企業の社会的責任を果たすための活動に取り組んできました。2002年にISO14001認証を取得しているのもその一環です。これからも新生紙パルプ商事は、社会から尊敬され、信頼される企業となるための取り組みを進めていきます。

これからも変わらない 紙だけが持つ価値

紙は4000年もの長い歴史を持っています。国家の統制を図るための情報伝達手段として、あるいは文化の交流を担う媒体として、紙は人類とその文化の発展を支え続けてきました。

近年、当社を含む紙業界は過渡期にあると言われております。パソコンやタブレット端末などの電子媒体が普及し、今後、紙の使用量の増加は見込めない状況にあります。しかし、紙が人々の生活の中で重要な位置を占めることは今後も変わりません。広告宣伝・美装のためのパッケージ材料としての紙の価値が高まってきており、その用途はますます広がっています。梱包・包装資材としても紙はこれからも物流を支え続けていくでしょう。段ボールが包装資材として藁や木箱に代わって普及し始めたのは昭和30年代のことです。安い、成型しやすい、環境に優しいといった特長を持つこの材料は、これからも梱包資材の中心であり続けるはずで、当社は紙の専門商社として、紙が持つ無限の可能性を追求し、その価値を社会に提供していきます。

代表取締役社長

若林紀生

本業に力を入れることが 社会に貢献するベースとなる

紙業界に身を置く企業の多くが現在新規事業に力を入れています。それは当社も同じですが、私たちが何よりも重視しているのは紙やフィルムなどの本業に力を注ぐことです。本業で売上と利益を着実に上げていくことが、社会に貢献し、社会から信頼される企業になるためのベースになるからです。その上で社会動向を見据えながら、海外事業や新規事業の強化に努めていきます。

働きやすい環境を整備し 女性社員の活躍を推進

事業を維持し、発展させるための最大の資産は人材です。近年、お客様の事業内容はますます多様化し、それに伴って当社へのニーズも多様化しています。それらに柔軟に対応し、ご満足いただくためには、男性だけでなく女性の活躍を推進することが重要です。男性、女性の区別のない職場環境を確立すれば、さまざまな業務で改善が進むかもしれません。当社では、短時間労働制度や育児・介護休業制度など、女性社員が働きやすい環境を整備しています。

企業の社会的責任の実現に向けて

「紙は環境負荷が大きい」と考える方も少なくないよう



です。実際は、紙は地球に優しい素材です。古紙から再生産・再利用するシステムが確立されており、古紙の回収率は約70%にもなります。また、パルプの製造工程で排出される黒液はエネルギーとして再利用されます。紙は循環型ビジネスが成り立っている素材なのです。こうしたことを積極的にアピールし、安心して使っていただくことも私たちの義務です。また、放射性物質の除去に有効な除染紙に見られるように、紙の特性を生かした社会貢献のあり方を考えて社会に提示していきたいと思っております。

2020年には東京でオリンピックが開催されます。景気の波が訪れて需要増につながるでしょうし、開催が近づけばチケットやパンフレットなどの用途で紙の使用量が増えるはずで、これをビジネスの好機ととらえるとともに、紙を通じてオリンピックの成功に貢献できるよう、当社の役割を果たしていきます。

座談会

若手社員が考える 「信頼される企業」とは

豊かな社会づくりへの責任を果たすため、新生紙パルプ商事は、全てのステークホルダーから「信頼される企業」を目指しています。「信頼される企業」とはどんな姿か。今後も信頼を集めるためには、社員一人ひとりに何ができるのか。若手社員が語り合いました。



管理統括本部
総務人事部 人事課 課長
密田昌寛 (進行役)

東京本店
化成品二部
鈴木史朗

2008年入社。営業担当として食品の包装フィルムを扱っている。コンバーター（加工会社）様とのやりとりが多い。

管理統括本部
総務人事部 人事課
前川麻菜

2013年入社。一貫して人事を担当。社員はもちろん学生、採用ツールの制作会社やシステム会社が主なステークホルダー。

東京本店
印刷用紙一部 二課
鈴山友樹

2010年入社。仕入れ担当を経て現在は営業を担当。書籍やパンフレット、医療機器のパッケージなどに用いる紙を印刷会社様に納めている。



大阪支店
総務部経理課
井上仁美
(テレビ会議で参加)

2009年入社。東京本店で営業を経験した後、現在の大阪支店経理課へ。東京本店時代は主に加工会社様・卸商様とお付き合いがあった。

本業を通じて 社会的責任を果たす

密田 現場の最前線で、さまざまなステークホルダーと接する若い世代の社員に集まっていただきました。当社は2年前からCSRレポートを発行していますが、皆さんはCSRという言葉を意識していますか。

井上 実はこれまで普通の業務の中であまり意識したことがありませんでした。事業を通じて企業の社会的責任を果たしていくことの重要性はもちろん理解していましたが、CSRという言葉を使う機会は少ないですね。

鈴木 加工会社様との会話の中でもCSRの話題が出てくることはほとんどないと思います。

鈴山 営業の実感としては鈴木さんが言う通りですね。しかし、だからといって社員のCSRへの意識が低いわけではないと思っています。当社の社会的責任は何かを考えると、一番はやはり「紙の安定供給」です。それは全ての社員が理解していることでしょう。本業を通じて社会的責任を果たす。特別にCSRという言葉を使っていなかったとしても、皆さんそのような意識で業務に臨んでいるのではないのでしょうか。

前川 採用説明会に来てくださる学生の方は、CSR、特に環境への貢献に対する意識が非常に高く、よく質問を受けます。CSRは学生が企業を選ぶ指標の一つです。活動を丁寧に伝えることが大切だと日々感じています。

紙を安定的に供給する という使命

密田 皆さんがそれぞれの立場で実践されているCSR活動を継続して実施することが社会からの信頼につながります。皆さんは「信頼される企業」とはどのような企業だと思いますか。

鈴山 取引先に信頼していただくための心掛けは「その時を全力で」ということだと思います。1回のやり取りに気を抜くことなく全力で応じる。この心掛けが対応や行動の速さ、「一緒に仕事をすると気持ちがいい」と感じていただけることにつながっていくと思いま



す。メーカーとお客をつなぐ流通を円滑にしていけるのが当社の役割であり、そのキーワードが「全力」だと考えています。

前川 学生の皆さんに対して私が果たすべき責任は、採用した後きちんと成長できる環境をつくることです。人を育てられる職場をつくり、その魅力を学生に伝えることが信頼につながっていくのではないのでしょうか。当然、人が育つ環境づくりは社員に対する責任でもあります。

鈴木 私が扱っているフィルムはスーパーやコンビニに並ぶ食品の包装材として活用されています。加工会社様にフィルムを卸す際、最終的に商品を手にする一般消費者のことを必ず考えるようにしています。そこから「ご高齢の方でも開けやすくできないか?」といった具体的な発想が生まれてくるからです。その視点を持つことが最終的に良い商品に結びつき、ひいてはそれが信頼になっていくのではと思っています。また、加工会社様が当社に期待されているのは、何かトラブルがあったときに確実に対応してもらえるという「組織としての安定感」だと感じています。商社としてのネットワークを駆使し、お客様の日々のご要望に応じていく。それだけの対応ができるノウハウや体制が整っている安心感が何よりの信頼だと思いますね。

井上 私も同感です。私たちの使命は紙を切らさず供給し続けること。何らかの理由でメーカーの生産が止まってしまうような局面でも、あらゆる方法を駆使して対応することが求められています。紙の流通を担う会社としての対応力は信頼の鍵だと思っています。

親しみやすく チームワークの良い「家族」

密田 では実際に、ステークホルダーの方は新生紙パルプ商事についてどのような印象を持っていると感じていますか。

前川 鈴木さんが言っていた「組織としての安定感」は学生の方に感じていただけているようです。当社が培ってきた歴史や事業の安定性、業界内でのポジションなどから「安心できる会社だな」と思ってもらえていると思います。他にも「アットホームな雰囲気が気に入りました」と言ってくることが多いですね。お会いする学生の方には誠実に真面目に接することを心掛けつつ、面接を待っている方にはフレンドリーに話しかけ少しでも緊張をほぐしてもらえるようにしています。そのような対応を温かく感じていただけているのかもしれません。

鈴山 印刷会社様からも「家族のようですね」と言ってくれたことがあります。温かな雰囲気という意味もあると思いますが、私や課長、営業事務の女性ら複数の担当者でお客様先を訪問する様子を見て、文字通り「家族」のようだと感じられたのでしょう。実際一つの家族のように少人数でチームを組み、メンバーが連携しながらお客様に対応する力も評価していただいています。親しみやすさとチームワーク、その二つの特徴が「家族」という言葉に表れているのだと思います。

井上 大阪支店は本店に比べれば小規模な組織ですので、多くのお客様に「家族のような会社」と感じていただけているのではないかと思います。それに加えて、「何でも相談ができる」という印象を持っていただけて

いると考えています。営業時代、加工会社様より当社にない専売品のリクエストがあったとき、私はその専売品を取り扱う他社を紹介し、結果としてさらに信頼していただけたことがありました。目の前の利益につながらなくともお客様のために行動する。そんな姿勢をお客様は見てくださっていると思います。

鈴木 営業担当として何かトラブルがあれば最優先で対応していますし、お客様とはビジネスとしてのお付き合いだけではない信頼関係を築こうと努力しています。「何かあればまず鈴木に」と言ってもらえる機会も多く、当社のことを「頼りになる存在」と思っている実感があります。

信頼は普段の業務の中で蓄積されるもの

密田 それでは、これまで以上に信頼されるためには何が必要でしょうか。

鈴木 やはり普段の業務の中で信頼を蓄積していくしかないと思っています。間違いが起こらない。ミスがない。基本的なことかもしれませんが、一人ひとりの業務の進め方はもちろん業務の仕組みも含めて絶えず改善していくことが重要だと考えています。

井上 鈴木さんの言う通りだと思います。特に経理としてはお金を扱っている以上、間違いは許されません。お客様はもちろん社外のどんな方から見られても自信が持てる仕事をするので、社会からの信頼につながると考えています。

鈴山 それはつまり、お客様起点で行動する、ということだと思います。理想としては、紙の商社としてはな

く、お客様の立場に立って動くイメージでしょうか。よりお客様に近いところで、お客様のために考えることが当社をお選びいただくことにつながるはずですが、また、全社員が最終消費者のことをイメージして仕事をするので、目の前の業務に対する意識も変わり、結果的には信頼に結びついていくのではないのでしょうか。

前川 ノー残業デーの奨励や有給休暇の50%以上取得、育児休業制度活用促進など、より働きやすい環境づくりに注力することが、社員に会社を好きになってもらう、つまり社員の会社への信頼につながると考えています。当社の財産は言うまでもなく社員です。安心して働くことができる環境づくりと合わせて、現場の社員がもっと頑張りたいような仕組みをつくることも大切だと考えています。社内環境をより良くしていくことが、学生からの信頼も深まり、社会からの信頼にもつながっていくと思います。

密田 ご意見ありがとうございます。ところで、2020年には東京オリンピックが開催されます。社会的にも盛り上がりを見せつつありますが、私たちにはどのような影響があると思いますか。

鈴木 開催に伴ってパンフレットやチケットなど紙の需要は確実に増えると思います。あとは、海外からお越しになる方々に日本の和菓子などを紹介する機会が増えることを想像すると、紙の包装への注目が高まるのではと期待しています。

鈴山 その点では当社の価値が発揮できそうですね。開催が近づくとともに不動産や建築業界もさらに盛り上がっていくと思います。パンフレットやカタログの需要が高まって、当社にとってのチャンスになるのではないのでしょうか。

密田 この機会をぜひ活かしていきたいですね。さて、本日は「信頼される企業」をテーマに建設的に議論することができました。CSRにはさまざまな要素があります。今回話題の中心となった「社会性」のほか、「環境」などはもちろんですが「財務」も実は大切な要素です。「信頼される企業」を目指す上では、健全で強い財務もまた重要なファクターになるということも、最後に付け加えておきたいと思っています。企業としての経済価値がなければ、社会から信頼を得られません。会社の健全な発展のために今後も力を合わせて頑張りましょう。

座談会を終えて

取り組むべきことは数多くある



私が経験したことのない他の部署の方のお話はとても勉強になりました。こうして議論してみると、信頼を得るために取り組むべきことは数多くあると感じます。個人としても足りない部分が見えてきて反省しましたし、会社全体としても頑張らなければと思いました。(鈴山)

CSRのあり方を再確認



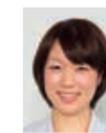
かねてからCSRに対する自分なりの考え方を持っていたのですが、今日それを話すことで改めて自分の考えを整理できましたし、CSRを再確認する機会になりました。普段接する機会のない別の部署の同年代は、自分にない意見を持っているので刺激になります。(鈴木)

過去の経験を振り返るきっかけに



座談会に参加するにあたり、過去の経験を思い返しました。どんな行動がお客様の信頼につながったのか、どんな行動をすればもっと信頼していただけるのか。これまでの仕事を振り返りながらじっくり考える良い機会になりました。今回の議論を職場に持ち帰り活かしたいと思っています。(井上)

小さな積み重ねが信頼につながる



実は社員の方に接する機会はあまり多くなかったのですが、先輩の皆さんと話すことができてうれしかったです。何が学生の信頼につながるのかと考えたとき、学生の方へのちょっとした気遣いや声掛け、丁寧なメール返信など、何気ない行動の積み重ねが大切なのだと気づきました。(前川)

今後の成長に大きな期待



今回のメンバーは、日々ステークホルダーと接する方、現場で信頼を得ようとしている若い方々です。「信頼される企業」という言葉を使わなくとも、真剣に業務に打ち込み、当社の使命を果たそうとしているのが伝わってきました。今後を託せる人が育っていると実感できる機会でした。(密田)



環境に配慮した製品の提供

環境に基づく 仕入れ販売ガイドライン

当社は社会の持続可能な成長に貢献することを目的に、環境方針の基本理念に基づき環境配慮型商品の仕入れ販売ガイドラインを制定しています。

目的	新生紙パルプ商事は環境方針の基本理念に基づき環境配慮型商品の積極的な仕入・販売を通して社会的責任を果たし環境保全に寄与する。
適用範囲	本ガイドラインは国内拠点および海外において適用する。
仕入方針	<ol style="list-style-type: none"> 1 森林認証紙の積極的な取り組み 2 グリーン購入法適合商品の積極的な取り組み 3 再生パルプ製品の積極的な取り組み 4 無塩素漂白パルプ製品の積極的な取り組み 5 間伐材紙の積極的な取り組み 6 非木材紙の積極的な取り組み 7 環境影響内容に基づく化成品の積極的な取り組み
販売方針	<ol style="list-style-type: none"> 1 生産メーカーの合法性確認が可能な商品 2 持続可能な資源より生産された商品
関連法令・ 条例・規格	<ol style="list-style-type: none"> 1 生物多様性民間参画ガイドライン（環境省） 2 国などによる環境物品などの調達に関する法律（グリーン購入法）



ステークホルダーと共に 環境保全に努める

営業統括本部 営業推進部 部長
鈴木一広

私たち社員一人ひとり、当社の環境方針に基づき、地球環境の保全を経営の最重要課題の一つとして認識し、あらゆる企業活動を通して「人と自然とが共生できる環境」を目指し、かつ次世代に引き継ぐため積極的に行動しています。また、私たちのお取引先様をはじめと

するステークホルダーの皆さまも地球環境の保全に向けたさまざまな取り組みを実施しており、「私たちがどのような環境保全活動に取り組み、どのように情報発信しているのか」が真剣に問われていると言えます。

そこで、私たちは、社会の大切な財産である森林を原材料とする「紙」を扱う一員として、「環境に基づく仕入れ販売ガイドライン」を策定し、お取引先様に私たちの取り組みをご理解いただくように努めています。私たちのホームページCSR環境活動に内容を公開しているので、お取引先様との商談や情報交換活動などにご活用してください。



名古屋支店
情報特殊用紙部 部長
高梨文吾

被災地復興への貢献

紙製の簡易担架「レスキューボード・マグナム」販売から3年が経過し様々なシーンでご利用いただいています。被災地支援プロジェクト「リヴァイブ・ジャパン」とのコラボは、お客様からの提案でつなぐことができました。購入金額の1%が自動的に寄附できる手軽さが好評を得ており、「東日本大震災復興支援」というワードと、企業を結び付けるスキームとして、一定の役割を果たしていると実感しています。真の復興が実現するその日まで、

企業としてあるべき姿を示し、販売を継続していくことこそが我々に課せられた責務と考え、今後も販売活動に真摯に向き合っていきたいと思っています。



紙製で軽く収納しやすいサイズです。約500kgの耐久性を持つ緊急用簡易担架です



九州支店
卸商部特殊開発課 課長
高木範之

環境への負荷を軽減する「木になる紙」

「木になる紙」とは「国民が支える森林づくり運動」推進協議会が命名した間伐紙の商品シリーズです。大きな特徴としては、①これまで捨てられていた間伐材が紙の原料の一部として使用され、商品化されている、②売り上げの一部が森林所有者など森林を管理する人たちのもとに還元されている、③カーボンオフセットが付与されている、などの点があります。このように「木になる紙」は、環境への負荷を軽減する商品であり、購入いただくことで、

林業・山村の活性化、土砂災害の発生防止、地球温暖化の防止に貢献することができます。現在では、関西・四国地区にもこの取り組みが広がりを見せています。



「木になる紙」
グリーン購入法総合評価点…86点
古紙パルプ配合率 70%…50点
間伐材パルプ配合率 30%…30点
白度度 69%…6点



東京本店
仕入部一課 課長
原 隆博

森林認証紙の積極採用を全国に広めていく

森林認証紙の積極的採用は多くの企業で進められています。資材購入のガイドラインを定め、購入を宣言している企業も増えつつあります。

FSC® 認証紙の「ヴィガ上質F」はそのようなお客様の要望に応える商品です。東京の市場からスタートし、全国展開も視野に入れ販売を進めています。薄物から厚物まで各米坪を揃えていますので、小冊子からパンフレットまで使用用途は広く、環境に配慮した商品として

積極的に全国で推奨していきます。



「ヴィガ上質F」はFSC®認証紙です。環境に配慮した商品として積極的に推奨しています

紙を通じて次世代のために地球環境への貢献を目指して

当社は森林資源に代表される自然の恵みを次世代に引き継ぎ、地球環境に貢献する企業を目指しています。

環境方針

基本理念

新生紙パルプ商事株式会社は、地球環境の保全を経営の最重要課題の一つとして認識し、あらゆる企業活動を通して「人と自然とが共生できる環境」を目指し、かつ次世代に引き継ぐため積極的に行動いたします。

また、環境保全に対する行動は我々一人ひとりに課せられた重要な責務であり、全社員自らその維持向上に最善を尽くして参ります。

行動方針

当社は紙流通企業として、事業活動における取扱い商品やサービスが環境に及ぼしている影響を常に把握し、環境目標を設定することによって環境への負荷を最小限にとどめ、環境汚染の予防と地球温暖化防止を推進いたします。

尚、環境目標は、状況の変化に対応し見直しを行います。

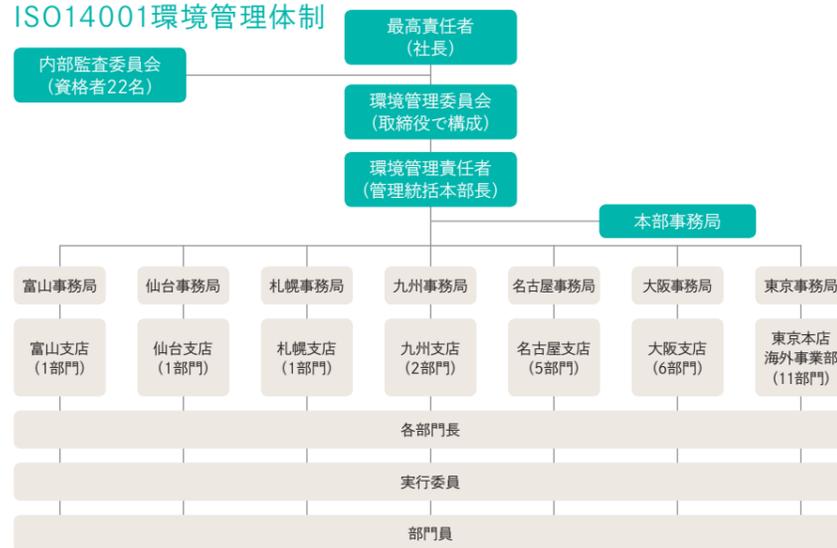
環境目標

1. 環境配慮商品の積極的な販売活動と環境負荷の少ない商品の開発に取り組みます。
2. 商品の配送に当っては、物流の効率化を図ることと、大気汚染の防止に努めます。
3. オフィス内の廃棄物の分別によるリサイクル化を推進いたします。
4. グリーン商品の積極的購入を行います。
5. 電力等エネルギーの使用量削減により、省エネルギー化に全員が積極的に取り組みます。
6. 環境に関する法規制、及び当社の同意するその他の要求事項を遵守いたします。

ISO環境委員会

当社のISO環境委員会は社長を最高責任者とした組織です。また、部署ごとに部門を設けることで、ISOに対する社員一人ひとりの意識向上を図っています。

ISO14001環境管理体制



当社の6つの取り組み

ISO14001

(環境マネジメントシステム)

2002 (平成14) 年取得、全店で取り組み、環境に対する意識と環境配慮型商品の取り扱い向上に役立っています。

森林認証

(CoC)

全店での取り組み。
FSC®…2003 (平成15) 年取得
PEFC…2007 (平成19) 年取得

ISO9001

(品質マネジメントシステム)

2005 (平成17) 年、本店・電材工業課で取得。顧客満足度向上に取組み取引先から信頼を得ています。

特定荷主

対象：年間3,000万トンキロ (トン×キロ) の事業主

2007 (平成19) 年施行。特定荷主に該当する当社は、国の要求する数値内に収まっています。

1% for プレゼント ツリー*

2009 (平成21) 年より、当社の販売実績の1%で樹を購入する植樹活動。現在、当社を通じて約1万本以上を植樹しています。

1% for リヴァイブ ジャパン*

2011 (平成23) 年より、東日本大震災復興支援のため、当社の販売実績の1%を寄附する活動。

*は、いずれも認定 NPO 法人・環境リレーションズ研究所と提携

森林認証紙の販売

当社ではFSC® (Forest Stewardship Council) によるCoC (Chain of Custody) 認証を2003年より継続して取得しています。またPEFC (Programme for the Endorsement of Forest Certification) によるCoC認証を2007年より取得しています。これらのロゴマークは、認証された森林から調達された木材が最終製品になるまで全ての工程における認証取得を意味します。



化成品分野における環境保護

当社では、環境影響内容 (廃棄物抑制効果・大気、水質、土壌汚染防止効果・地球温暖化防止効果など) に基づく項目基準点を定め、その評価点によって環境配慮型商品を位置付け、環境保護につながる商品を販売しています。

化成品分野の主力販売商品も環境配慮型商品として販売しています。食品包装フィルムは、物理的要因・化学的要因・生物的要因・人的要因等、各種要因から内容物を保護するために使用されています。

1% for Present Tree 環境配慮型プロジェクトへの参画

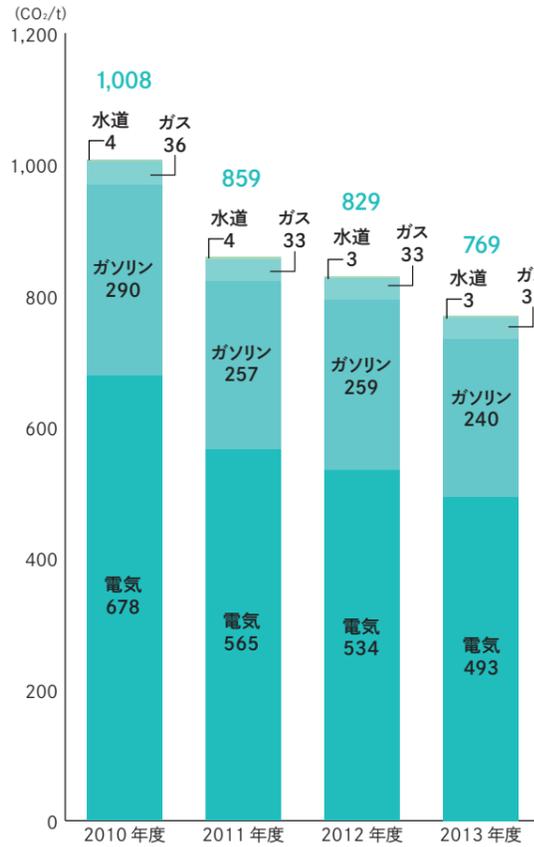
「1% for Present Tree」とは、当社から購入いただいた紙やフィルムなどの購入金額に1%を加算し、その1%分の額で認定NPO法人・環境リレーションズ研究所が運営する植林プロジェクトを支援するものです。参加いただいた媒体には認定NPO法人・環境リレーションズ研究所の商標登録マークの表記が認められます。



日々の活動を積み重ね 環境保全に責任を果たすために

当社は環境方針の基本理念にのっとり行動方針を定め、具体的な取り組みを進めています。

当社の事業活動によるCO₂排出量



2013年度

電力消費量およびCO₂排出量



CO₂排出量の計算方法
電気使用量×0.00039 (1t-CO₂/kWh)
引用資料：環境省自主参加型国内排出量取引制度 算定マニュアル

ガソリン消費量およびCO₂排出量



CO₂排出量の計算方法
ガソリン使用量×34.6 (GJ/kl) ×0.0671 (1t-CO₂/GJ)
引用資料：環境省自主参加型国内排出量取引制度 算定マニュアル

都市ガス消費量およびCO₂排出量



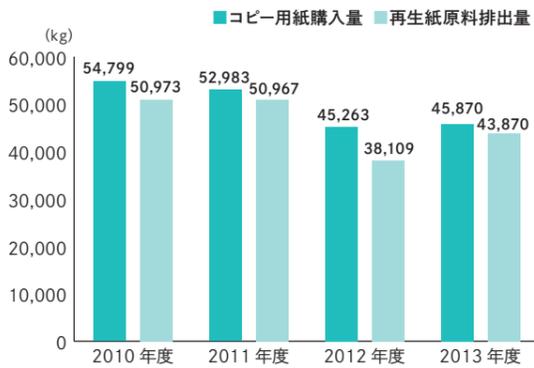
CO₂排出量の計算方法
ガス使用量×41.1 (GJ/千m³) ×0.0506 (1t-CO₂/GJ)
引用資料：環境省自主参加型国内排出量取引制度 算定マニュアル

水道水消費量およびCO₂排出量

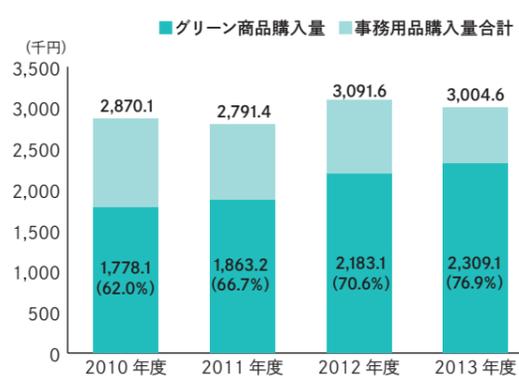


CO₂排出量の計算方法
水道使用量×0.2 (係数)
引用資料：社団法人東京法人会連合会 二酸化炭素排出量算出シート
http://www.tohoren.or.jp/calc_co2/calc_co2.html

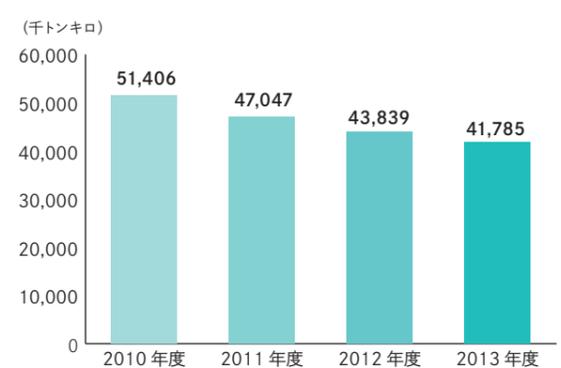
コピー用紙購入量および再生紙原料排出量



グリーン商品購入比率



特定荷主*としての輸送実績



*1件当たりの配送量×配送距離 (=トンキロ) が年間で3,000万トンキロ以上になる荷主企業のこと。改正省エネ法では、中長期的に年1%以上低減する努力が求められる。

削減のための具体的な行動

社員一人ひとりが、自分でできることを自主的に取り組んでいます。

- 空調の条件付き停止
- 昼休みの蛍光灯の消灯
- クールビズ・ウォームビズの実施
- 休日出勤の禁止
- 各フロア給茶機1台の停止
- LED照明の導入
- 蛍光灯の間引き
- 階段の利用推進
- ノー残業デーの実施
- 夏季休業日の設定



昼休みの社内



3UP 3DOWN運動の実施
※3フロアへの移動は階段を使用します

2014年のISO14001

目標設定	東京海外	大阪	名古屋	九州	札幌	仙台	富山	全店
電気消費量の削減	2	2	1	1	1	1	1	9
ガソリン消費量の削減	8	3	2	3	1	1	1	19
一般ゴミ排出の削減	2	1	1	1	1	1		7
コピー用紙使用量の削減	3	1	1					5
グリーン購入の推進	1	1	1	1	1		1	6
環境配慮型商品の販売	13	6	6	2	2	2	1	32
業務の効率化	5							5
その他	2							2
合計	36	14	12	8	6	5	4	85

2014年度ISO14001では、全店で85件の目標が作成されました。年度末には、全目標が達成できるように取り組みます。

輸送エネルギーの削減に向けた取り組み



東京本店
物流部 部長
有坂直樹

改正省エネ法では、貨物輸送事業者に発注する「荷主」に対しても輸送に関わるエネルギー使用の合理化を図り、エネルギー消費原単位を中長期的にみて年1%以上低減する努力が求められています。特に貨物輸送量が年間3,000万トンキロ(重量t×距離km)の荷主は「特定荷主」とされ、年1回計画書・定期報告書を国に提出する義務があり、当社もこれに該当します。

- 当社では計画を達成する方策として、
- ①直送率の向上…当社が荷主となる配送の削減
 - ②倉庫の集約化…積み合わせ増加による積載量のアップ
 - ③在庫の最適化…納入先に近い倉庫に在庫することによる配送距離の短縮

以上の取り組みを日々意識して行うことにより、エネルギー消費量の削減を目指しています。



社会とともに歩み、健全で信頼と期待に応えるために

当社では経営理念に基づき、事業を支える体制を整え社会に対する責任を果たしています。

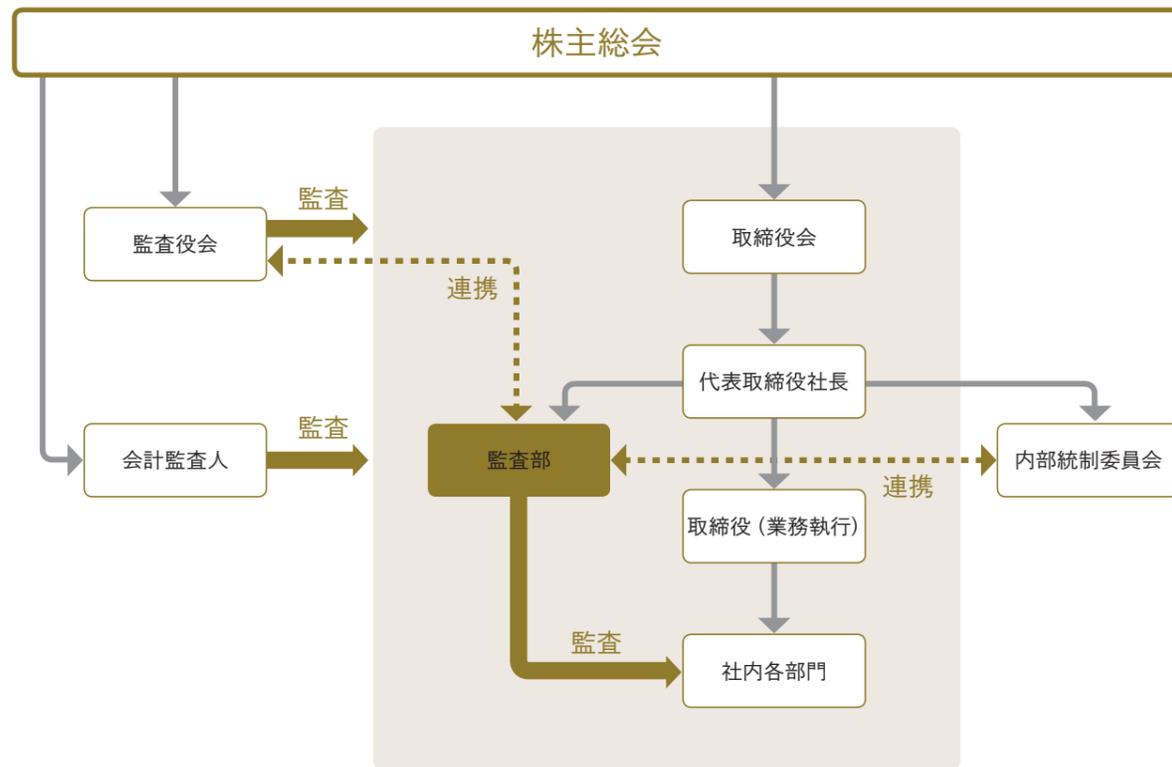
コーポレートガバナンス

経営方針にあるように「支持され」「必要とされ」「選ばれる」会社として成長し続けるためには、当社を取り巻くさまざまなステークホルダーと良好な関係を築き、存在価値を高めなければなりません。その一環として、株主総会、取締役（会）、監査役（会）、会計監査人を軸として、経営に関する監査機能の強化と透明性の向上に努めています。

経営上の重要事項の承認の場として取締役会を開催

し、必要な施策の適切かつ敏速な実行につなげています。また監査機関として監査役会を設置しています。監査役会は健全で持続的な成長を支え、社会的信頼に応える優れた企業統治体制の確立に責任を負います。監査計画、監査結果については監査役（会）、会計監査人の意思疎通が十分に行われ、公正で実行性ある監査体制を構築しています。

コーポレートガバナンス体制図



コンプライアンス

コンプライアンスとは、法令を遵守するだけでなく、企業が公正で適切な事業活動を行うために社内規程、マニュアル、倫理などを守ること、さらには企業がどのようなルールを設定し運用するか環境を整備することも含まれます。当社は社会的規範や企業倫理を守った企業活動を行っていますが、社員がより高い意識を持てるよう、実例を交えた研修を定期的の実施しています。



内部統制研修会の様子

リスクマネジメント

2012年に策定したBCP（事業継続計画）は、内閣府防災担当公表の「事業継続ガイドライン」に準じて重要な項目を当社業務と照らし合わせて策定されています。それに基づいた初動マニュアルに従い想定訓練の計画を行っています。



事業継続計画



BCP策定会議の様子

災害に負けないシステム対策

リスクと一口に言ってもその内容は様々です。ここでは、BCPに基づくシステム対策について説明します。

まず、当社のBCPは首都直下型地震および支店所在地の大地震の二つを想定して作成されています。想定への対策としては、東京ビルに設置していた主要サーバー類（19台）を当社システムが格納されているのと同じ施設に移設し、主要機器類を自家発電付きの耐震施設へ集約しました。これにより、どの店が被災

してもシステムはもとよりデータウェアハウス、グループウェア、電子帳票など主たるサービスは被災店以外で通常に利用することができるようになりました。また、被災店も電源や回線、端末類の復旧が整い次第各サービスの利用が可能です。ただし、システムが復旧しても肝心の人員が無事であれば何の意味もありません。使う人あつてのシステムです。有事の際は、何より冷静な対応を心掛けたいと思います。



東京本店
システム企画部 部長
東田浩一

内部統制

1. 会社経営および事業運営の有効性・効率性の確保
2. 財務諸表の正確性の確保
3. 法令・社内ルール遵守の徹底
4. 資産の保全



人を活かし、人を育て、 広く社会に貢献する企業として

当社の事業活動を支える社員一人ひとりとチームワークの力を最大限に引き出すため、より良い環境づくりに努めています。

一般事業主行動計画

当社は社員が仕事と子育てを両立させ、その能力を十分に発揮できるような働きやすい環境の整備を目的とした行動計画を2015年3月31日まで策定しています。

目標	対策
1. 年次有給休暇の取得割合（取得日数／新規付与日数）を50%以上とする。	<ul style="list-style-type: none"> ●各部署での仕事の役割分担を明確にして、仕事の共有化を図ります。 ●計画的に有給休暇を取得するため「有給休暇取得予定表」を3ヶ月毎に作成、部署内で事前共有します。
2. 所定外労働削減のため「ノー残業デー」を全社一律に水曜日および金曜日とし、実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ●上長は課員の業務を常に把握し、業務の合理化・効率化を図れるよう適切な管理・指導をします。 ●社員の健康管理上、引き続き全店で実施できるよう、ポスター、当日の放送、メールでの周知徹底を図ります。
3. 女性・男性ともに積極的に育児参加できる環境を整備し、妊娠した女性の育児休業取得率を90%とする。	<ul style="list-style-type: none"> ●周知・啓発のために、計画的に取得するよう指導します。

※厚生労働省「次世代育成支援対策推進法」一般事業主行動計画第12条に基づく。

人事制度

商社の最大の資産は「人材」です。社員が高いモチベーションを持ち、やりがいを持って働くことのできる環境を作るため、目標管理システムに基づく人事制度を運用しています。また、変化する業務環境に合わせて改善を重ね、従業員が納得できる公正な人事制度の構築を図っています。

このような人事制度を基に、適材適所とローテーションによるキャリアアップ人事を推進し、経営理念・経営方針の実現を目指しています。



課長研修の様子

社員一人ひとりが高い志を持ち、プロ集団として力を発揮することを目指しています。また企業の力の源は、「目標を正しく理解する」「目標達成に向けて正しく行動する」「目標達成の結果を正しく評価する」ことのできる人材育成であると考えます。新入社員教育をはじめOJT、階層別研修などを通して、人材の育成に力を入れています。

高齢者雇用の促進

当社では、定年後も勤務を希望し、健康状態など一定の条件を満たす社員を最長65歳まで雇用する「再雇用規程」を定めています。培われた経験を生かし、豊富なノウハウが次世代の社員に引き継がれるようバックアップしています。

障がい者雇用の促進

当社は毎年、「障害者雇用促進法」に基づいた障がい者の方の雇用に積極的に取り組んでいます。2014年4月現在、国の求める法定雇用人を満たしています。今後もさらなる雇用拡大を推進するとともに、障がい者が安心して働ける職場環境の整備に努めていきます。

女性の活躍推進

現在、企業に於ける女性の活躍は著しく、今後ますますその躍進が期待されています。当社も女性総合職の積極的採用と女性が正当に評価され働くことに生きがいをもてる職場づくりに取り組んでいます。

職場環境と働きがい

当社に入社し、3年目になります。入社後、総務課に配属されて以来、勤怠管理や出張簿の取りまとめが主な仕事です。



東京本店
総務課 総務課
軽部雅一

大学時代の事故で右 upper limb 麻痺の身体障害などがあります。そのため働くことに対する不安は常にありました。配属当初は、精神的に疲れることも多かったのですが、周囲と協力しながら仕事を進めるという職場環境のおかげで乗り切ることができています。

これからも、「あわてず」「あせらず」「あきらめない」の三つの「あ」を常に思い出しながら仕事をしていきたいと思っています。

育児・介護休業制度

社員が安心して「仕事」と「家庭」を両立できる働きやすい職場環境を確立するため、育児や介護のための休業制度に加え、個々の社員の状況や要望に応じた短時間勤務や時間外労働の制限などにも対応しています。

定期検診・母性健康管理

社員が心身ともに健康であって初めて能力が発揮できると考えています。この考えの下、満30歳と35歳以上の社員には生活習慣病検診を年1回行い、前述の年齢以外の社員には年1回の定期健康診断を実施しています。また母性健康管理規程を設け、女性社員が出産前後も「健康」で「仕事」に従事できる環境づくりに配慮しています。

職場復帰と育児

育児休業制度を利用し、昨年4月に職場復帰しました。私自身初めての出産、子育てだったのでたくさんの喜びと、同じくらいたくさんの不安を抱えての毎日でした。それでも、会社にしっかりと育休制度があり将来の職場復帰が可能であるということはとても心強く、会社を守ってもらっていることを実感しました。また、大阪支店では育休取得後に職場復帰している方が数名いますが、復帰後も活躍している皆さんの姿が大いに励みとなりました。

復帰後に上司や同僚の理解とサポートのおかげで、仕事と育児の両立ができています。もとてもありがたい感謝しています。これからも少しでも会社に貢献したいという気持ちでいっぱいです。



大阪支店
仕入部 二課
山本祐子



地域貢献活動

地域に深く根ざし、環境保全や社会のために各拠点で活動を続けています。

本店

定期清掃活動



本店所在地の東京都千代田区では、春と秋に「千代田区清掃の日」と定め小・中学校と地域住民による清掃活動が実施されています。当社も定期的に参加して地域活動への協力を行っています。今回は「環境月間」に合わせ6月度にも実施し、総勢約50名の社員が自主的に参加しました。

九州

博多祇園山笠



博多祇園山笠とは、福岡市の博多区で毎年7月1日から15日にかけて開催される770年以上の伝統のある祭で、国指定重要無形民俗文化財にも指定されています。九州支店では、開催に協賛して、当日は勢い水を提供するため水道を開放するなど地域との交流を大切にしています。

本店

海外救援活動



女性社員のユニフォームリニューアルに伴い衣料品での社会貢献を検討し、カーディガン・ブラウスを全店から集め認定NPO法人日本救援衣料センター（JRCC）を通じて寄贈しました。主な寄贈先はガーナ・コンゴ・ザンビア他10ヶ国以上で有効に活用されています。

札幌

地域安全衛生活動



札幌支店は、所在地の「五番街振興会」と「第五町内会」に加盟して、照明・装飾・広告などの諸設備や交通安全、環境衛生にかかわる活動に参加しています。また、観光都市としての地域の発展に協力していきます。

大阪

献血運動



大阪支店では日本赤十字社からの依頼を受けて献血運動を実施しています。社会貢献の一環として定期的に毎回20名から30名の社員が参加しています。

仙台

除草作業



運送管理委託会社の太陽運輸株式会社にご協力いただき、仙台市郊外にある仙台物流センターの除草作業を実施しました。コンクリートの割れ目から等身大以上に育った雑草の除草は3台の草刈り機を使っても半日掛かりました。

名古屋

クリーンキャンペーン



名古屋支店では「環境デーなごや2014」の一環として開催されたクリーンキャンペーンに参加し、有志数名が商店街振興組合、地元企業などと共に「クリーンウォーキング」を行いました。約1時間の作業でゴミ集積場には大量のゴミ袋が集まりました。

富山

除雪作業



富山支店では、降雪量の多い冬期に、近隣企業と協力しながら歩道や駐車場の除雪作業を行い、地域の安全に努めています。

職場の安全性

当社は労働安全衛生関係法令に基づき、産業医や衛生管理者など専門家を交えた衛生委員会を毎月1回開催しています。本店では社員の健康状態の確認を目的とした産業医による巡回を毎月2回行っています。希望する社員は産業医との健康相談が個別にできるなど、職場環境における安全衛生に努めています。また、メンタル面における社員の健康維持と予防のため、外部のカウンセラーによる相談室を設けるとともに常に社員の健康状態に注意を払い、問題発生を最小限に防ぐ努力をしています。



セクシャルハラスメントに対する対策

当社はセクハラに関する事項を就業規則に規定しており、労働条件に不利益を与えたり、職務遂行を妨げたりする言動をしてはならないことを遵守するよう定めています。また、必要に応じて、会社として従業員の意見を取り上げるよう努めています。

従業員会との協調関係

会社と従業員の円滑な関係を構築・維持するため、当社では、従業員による従業員会が組織化されています。会社と従業員の良い関係は、会社の発展と健全性にとって不可欠なものとして捉え、定期的に毎月1回会合を持ち、さまざまな案件で意見交換を行っています。

クラブ活動

当社では、社内コミュニケーションの場として、また、社外との交流の場として、クラブ活動を支援しています。各クラブさまざまな活動していますが、従業員のスポーツクラブ活動による健康増進、文化クラブ活動で身に付ける教養などにより、社員が活性化することを福利厚生制度のひとつとして捉えています。

バスケットを通じて会社に活力を

当社バスケットボール部は、関東実業団の1部リーグに所属しています。部員は、営業部門・管理部門の各部署に所属しており、業務終了後に週2～3回、練習に励んでいます。過去の戦績は、関東実業団リーグ戦優勝、関東実業団選手権優勝、全日本社会人選手権準優勝、全日本実業団選手権準優勝などです。現在はまだ成し遂げていない「全国優勝」を最大の目標として日々の練習に全力で取り組んでいます。部員一同、バスケットができる環境に感謝し、仕事と練習の両立に努め、会社やお客様に活力を与えていきたいです。Facebookにて選手紹介や近況報告、試合日程・結果などさまざまな情報を配信しています。
<http://fb.com/292940860850040>



東京本店
包装用紙部 一課
山本洋平



自然と共存してきた企業として、 環境保全のリーダーになってほしい

書籍であれ、雑誌であれ、私の仕事の成果のほとんどは「紙」という素材に帰結します。本日も刷り上がったばかりの新刊が手元に届きました。装丁の美しさ、手に取ったときの重み、パラパラとページをめくったときの指先の感触、インクの臭いといった「実感」の中に、数カ月におよぶ取材・執筆の日々が思い起こされる、物書きにとって至上の瞬間です。そして、数十年後、すでに私がこの世からいなくなったとしても、この本が、多少色あせてくたびれた格好になっていたとしても、私の子どもや孫に何かしらを語りかけてくれるのではないかと思います。「紙」には「情報」以上のものを運ぶ力があります。

私も大変お世話になっている「紙」を取り扱う企業としての新生紙パルプ商事株式会社のCSRレポート2014年版原稿を発行に先駆けて拝読しました。特に「環境への配慮」の本気度を感じました。しかしこれは考えてみれば当然のことといえるでしょう。

「紙は環境負荷が高いので、時代はペーパーレスへ」というのが世の中の流れではありますが、若林紀生社長のトップメッセージにあるように実は、「紙」は地球に優しい素材です。「紙」は自然からの恵みであり、「紙」を商材として商売を続けていこうと思うのなら、自然を守ってやらねばなりません。むやみに木を切り倒すのではなく、計画的に植林し、森を育て、計画的に伐採し、安定的に原料を調達できるような仕組みを作らなければなりません。自分の利益の追求だけをしていけば、いずれ自らの首を絞めることになるという構造にもともとある業界なのです。「個の最適化」と「全体の最適化」を両立しなければ存続できません。

聞けば社史は1692年にまで遡るということです。300年以上の歴史の中で培われた、環境と共存しながら発展する企業文化は、21世紀になって突然「環境、環境」と言い出した業界のそれとは違って当然でしょう。また、現在の人間の経済活動を無視して理想論的に語られる環境保全活動と比べても、同社の環境保全活動は、一線を画しているような気がします。そこには、自分たち人間も地球の一部であるという強い共同体意識を土台に存続してきた企業であるからこそその説得力があります。そのような企業こそが、これからの社会における環境保全活動のリーダーとなるべきだと、今回私は強く感じました。

日本は資源の乏しい国だといわれます。しかし、日本の国土の約7割は森林です。森林は、大切に使えば、永遠に恵みを与えてくれる、いわば循環型の資源です。そう考えれば、日本が決して資源の乏しい国なんかではないことがわかるのではないのでしょうか。そんなことを伝えていく説得力が、当社にはあります。こうした活動を続けていくことが、未来の子どもたちへの最大のプレゼントにもなります。深く「紙」に携わる者として、次世代教育に携わる者として、そして一人の父親として、同社への期待は膨らみます。



育児・教育ジャーナリスト
心理カウンセラー
おおたとしまさ氏

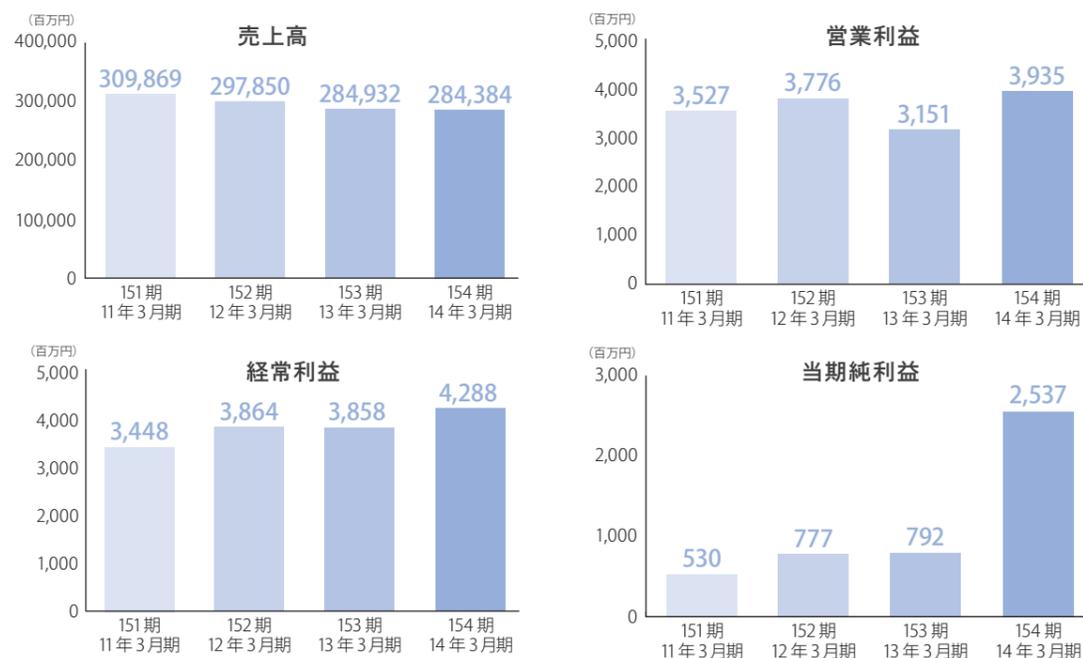
Profile

1973年東京生まれ。上智大学英語学科卒業後、株式会社リクルートで海外旅行雑誌編集に携わる。長男誕生を機に、「子どもが「パパ〜！」っていつでも抱きついてくれる期間なんてほんの数分。今、子どもと一緒にいられたら一生後悔する」と退社し独立。その後、数々の育児・教育誌のデスクや監修を歴任し、現在は育児・教育をテーマに執筆・講演活動を行う。男性の育児・教育、子育て夫婦のパートナーシップ、無駄に叱らないしつけ方、中学受験をいい経験にする方法、学校・塾の役割などについて、新聞・雑誌へのコメント掲載など多数。ラジオ番組にもコメンテーターとしてレギュラー出演中。心理カウンセラーの資格があり、サイト「パパの悩み相談機」ではメールで全国のパパからの悩みを受け付けている。中高の教員免許を取得しており、小学校教員の経験もある。『中学受験という選択』『パパのトリセツ』など著書多数。海外で翻訳されている著書も多い。

会社概要

商号	新生紙パルプ商事株式会社 SHINSEI PULP & PAPER COMPANY LIMITED
本社及び本店	〒101-8451 東京都千代田区神田錦町1丁目8番地
創業	明治22年(1889年) 11月 3日
設立	大正 7年(1918年) 3月14日
資本金	32億2,800万円
営業品目	紙・パルプ・化成品・紙加工品・建材・機械・機器 等々
従業員	638名(平成26年3月31日現在)
国内事業所	7カ所
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 紙、パルプ、化成品、化学薬品の販売及び加工並びに紙加工品の販売 紙加工用機械、印刷用機械、紙製造用機械、包装用機器、合成樹脂加工機、工業用電気機器、輸送用機械、通信用機器、事務用機器・付属品の販売及び賃貸 包装資材、印刷製本資材、建築用資材、製紙用資材の販売及び賃貸 前各号の販売の仲立、問屋、代理店業及び輸出入 前各号の事業システム設計、工事及び監理並びに請負 土地の造成、土地・建物の売買、賃貸及び管理の受託 賃室業及び駐車場業 倉庫業及び自動車運送取扱事業 内装仕上げ工事 前各号に関連する事業への投資 損害保険代理業並びに自動車損害賠償保障法に基づく保険代理業 生命保険の募集に関する業務 書籍、雑誌、文具の販売 前各号に附帯する一切の業務
福利厚生施設	全国に6カ所

業績報告(単体)



新生紙パルプ商事株式会社

SHINSEI PULP & PAPER COMPANY LIMITED
〒101-8451 東京都千代田区神田錦町1丁目8番地
TEL (03) 3259-5080 (代) FAX (03) 3233-0991 (代)
<http://www.sppcl.co.jp>



この用紙は、責任ある森林管理に
配慮しています。



植物油を使用したインキの使用に
よりVOCを削減し、水質保全・健
康被害の抑制に配慮しています。



水なし印刷の採用により、水
質保全・健康被害の抑制に
配慮しています。